

○ 議第90号～第106号「指定管理者の指定について
(子ども若者はぐくみ局関係)」参考資料

議第 90号「京都市紫野児童館」	・・・	1
議第 91号「京都市じゅらく児童館」	・・・	5
議第 92号「京都市壬生児童館」	・・・	9
議第 93号「京都市朱雀第三児童館」	・・・	13
議第 94号「京都市御前児童館」	・・・	17
議第 95号「京都市清水児童館」	・・・	21
議第 96号「京都市今熊野児童館」	・・・	25
議第 97号「京都市四ノ宮児童館」	・・・	29
議第 98号「京都市洛陽児童館」	・・・	33
議第 99号「京都市常盤野児童館」	・・・	37
議第100号「京都市西京極児童館」	・・・	41
議第101号「京都市御室児童館」	・・・	45
議第102号「京都市桂川児童館」	・・・	49
議第103号「京都市南浜児童館」	・・・	53
議第104号「京都市醍醐中央児童館」	・・・	57
議第105号「京都市辰巳児童館」	・・・	61
議第106号「京都市横大路児童館」	・・・	65
指定候補者の役員等名簿	・・・	69

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市北区紫野雲林院町44番地の1

(施設外クラス)

京都市北区紫野上鳥田町30番地

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造3階建て

延べ床面積 191.9平方メートル

(施設外クラス)

鳳徳小学校内(1階の1教室)

延べ床面積 40.0平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会(会長 小石 玖三主)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業) ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市上賀茂児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	31,787,835	32,559,498	33,354,311	34,172,969	35,016,186
	利用料	9,775,100	9,775,100	9,775,100	9,775,100	9,775,100
	収入合計	41,562,935	42,334,598	43,129,411	43,948,069	44,791,286
支出	人件費	26,327,263	27,098,926	27,893,739	28,712,397	29,555,614
	事業費	15,235,672	15,235,672	15,235,672	15,235,672	15,235,672
	支出合計	41,562,935	42,334,598	43,129,411	43,948,069	44,791,286

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 ・ また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 ・ 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	22.25
	小計	32	28.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	15.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.00
合計		98	93.25
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	96.05
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	98.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価での特に中高生世代の居場所という役割の向上について、継続的な中学校や高校、青少年活動センターとの連携があればさらに向上すると考えられる。外部評価での提案の実現可能性について検討することを期待している。
- ・ 人材育成の強化、第三者評価を受診していることは評価できる。
- ・ 年2回利用者アンケートを実施してはどうか。
- ・ 学童クラブの受入れは6年生までとなっているが、当該事業計画によれば、3年生で修了することが前提となっている。たとえば、実際は上4年生以降の子どもを受け入れているとしても、3年生の修了式やお別れ会等3年生の修了を前提とした行事や計画となっていれば、当該地区の保護者や子どもは、当該児童館は4年生になれば登録することができないという誤った認識が広がる可能性がある。このような計画では、4年生以降の登録ないし預かりは例外的な取り扱いとなってしまう、当該児童館で4年生以降の学年で在籍している子どもに対するかかわり方がどのようになっているのか疑問もある。実際に在籍している子どもも何かしらかの疎外感を感じるのではないか。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市中京区聚楽廻松下町9番地の4

(分室)

京都市中京区西ノ京車坂町15番地の5

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造2階建て

延べ床面積 153.72平方メートル

(分室)

構 造 鉄骨造1階建て

延べ床面積 69.40平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市紫野児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度
収入	委託料	31,779,420
	利用料	6,315,400
	収入合計	38,094,820
支出	人件費	24,808,909
	事業費	13,285,911
	支出合計	38,094,820

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 (非公募)	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 ・ また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受け入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 ・ 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 非公募の理由

本児童館が所在する建物については、同じ建物内に所在する京都市聚楽保育所の民間移管に併せて、売却することを予定しており、本件児童館は、当該売却に伴い廃止することを予定している。

本児童館については、従来から指定期間を原則として5年としているところ、本児童館の廃止は、現在の指定期間の満了から1年後に行う予定である。したがって、かかる短期間のために現在の指定管理者を変更することは施設の供用上適当でないため。

(3) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	21.75
	小計	32	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	93.75
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	96.56
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	98.5

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(4) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部の委員から意見を聞く児童館事業委員会の開催は大変良いことと思われる。児童館事業委員会には利用者のアンケート結果を示し、委員会の意見を十分反映してほしい。
- ・ 共通マニュアルや各種マニュアルを作成している。マニュアル内容の見直しはさることながら、マニュアルの活用方法（どのように活用しているか）の検証も大切だと思う。
- ・ 具体的な取組をもっと明確にされるとよい。また、地域に常に還元する姿勢を忘れずに情報発信をされると良いと思う。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市中京区西ノ京北小路町5番地
(施設外クラス)

京都市中京区西ノ京等殿町164番地

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造平屋建て
延べ床面積 251.75平方メートル
(施設外クラス)

朱雀第四小学校内(多目的スペース)
延べ床面積 64.00平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	公益社団法人京都市児童館学童連盟(会長 稲川 昌実)
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	平成18年4月1日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の社会性向上及び自立促進を図るための事業 ・ 児童虐待の予防・防止及び子育て不安の解消を図るための事業 ・ 児童の安全確保を図るための事業 ・ 児童健全育成に寄与するイベント等の実施及び広報・普及啓発事業 ・ 児童館・学童クラブ等職員の資質の向上及び育成 ・ 障害のある児童のための介助者の派遣, 巡回指導の実施 ・ 地域の子育て支援や福祉サービスの利用を援助する事業 ・ 児童館・学童クラブ相互の連絡調整並びに関係機関及び関係団体との連携協力 ・ 学童クラブ事業の公平・円滑な運営を図るための事業 ・ 児童館・学童保育所に従事する職員を紹介するための職業紹介事業 ・ 児童館の管理及び運営
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市今熊野児童館ほか6館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 「乳幼児あそびのひろば」や月一回の「工作・クラフトの日」の実施により幅広い年齢層の子どもたちへ多様な遊びや学びの場を提供する。
- イ 警察の協力のもと防犯講座を実施する等, 子どもたちの安全指導を行う。
- ウ 子育て家庭への支援として, 子育て相談を随時受け付けている。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	21,919,000	22,033,000	22,153,000	22,276,000	22,405,000
	利用料	8,226,000	8,226,000	8,226,000	8,226,000	8,226,000
	収入合計	30,145,000	30,259,000	30,379,000	30,502,000	30,631,000
支出	人件費	24,287,000	24,519,000	24,754,000	24,990,000	25,230,000
	事業費	5,858,000	5,740,000	5,625,000	5,512,000	5,401,000
	支出合計	30,145,000	30,259,000	30,379,000	30,502,000	30,631,000

5 選定の概況

(1) 申請団体及び選定理由

応募 団体数	申請団体名	選定理由の概要
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益社団法人 京都市児童館学 童連盟 ・ 株式会社セリオ 	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、各種事業の実施内容について、地域の様々な世代や関係団体との交流を促す取組が提案されており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、子ども自身の意識を高める取組が行われており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益社団法人京都市児童館学童連盟を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体	
大項目	中項目		公益社団法人 京都市児童館 学童連盟	株式会社 セリオ
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	24.00	22.25
	小計	32	30.00	28.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00	7.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00	9.75
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	4	4.00	4.00
	小計	70	70.00	68.50
合計		102	100.00	96.75
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	103.00	—
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	100.0	94.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ サービスの質を確保・向上するための方針が明確である。モニタリングをして、それが新しい取組につながっている。
- ・ 日々の情報収集や会議によりサービスの質向上に向けて取り組んでいる。
- ・ 実績を踏まえた対処が随所になされていて意見を述べる点が見当たらないが、強いて言うなら、このすばらしい活動をSNSや時には口コミなど様々なツールを利用して、地域全体に理解してもらえることを期待する。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市中京区壬生松原町19番地の2

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造平家建て
延べ床面積 222.44平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都保育センター（理事長 藤井 修）
主たる事務所の所在地	京都市北区大將軍坂田町8番地1
設 立 年 月 日	昭和51年1月8日
現 在 の 基 本 財 産	土地
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所くりのみ保育園の設置運営 ・ 保育所たかつかさ保育園の設置運営 ・ たかつかさ児童館の設置運営 ・ 京都市西京極児童館の指定管理 ・ 京都市御室児童館の指定管理 ・ 京都市朱雀第三児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市西京極児童館ほか1館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもたちの様々な表現を大切にし、弱さも含めた自分自身を肯定できるような環境を創出する。
- イ 地域から孤立した子育て世帯がなくなるよう、情報発信及び気軽に立ち寄れるような雰囲気づくりを心がける。
- ウ 地域の子どもと大人が共同で取り組むことができるイベントの開催により、地域の活性化に貢献する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	32,390,000	32,981,000	33,615,000	34,219,000	34,860,000
	利用料	5,850,000	5,850,000	5,850,000	5,850,000	5,850,000
	収入合計	38,240,000	38,831,000	39,465,000	40,069,000	40,710,000
支出	人件費	32,400,000	32,991,000	33,625,000	34,229,000	34,870,000
	事業費	5,840,000	5,840,000	5,840,000	5,840,000	5,840,000
	支出合計	38,240,000	38,831,000	39,465,000	40,069,000	40,710,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人 京都保育センター ・ 株式会社セリオ 	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、児童館のほか、多数の児童福祉関連事業の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査における指摘事項はなく、団体運営が適切に行われております。外部評価については、法人が運営する児童館で、第三者評価を受診し、子どもの権利を尊重した児童館運営ができていると評価を受けており、評価できる実績です。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、様々な世代の交流を創出する取組や、孤立しがちな子育て世帯を支援する取組を積極的に行っており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、施設を利用する様々な世帯に配慮したマニュアルが整えられており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都保育センターを指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体	
大項目	中項目		社会福祉法人 京都保育センター	株式会社 セリオ
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00	6.00
	2 団体の運営管理体制	2.6	2.60	2.75
	小計	3.2	3.20	2.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00	7.50
	2 応募施設の事業計画	1.6	1.60	1.60
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	1.00	0.95
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	1.175	1.20
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	2.00	2.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	4	4.00	4.00
	小計	7.0	6.975	6.90
合計		10.2	10.175	9.775
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	10.480	—
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100.0	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 誰一人とりこぼさないというすばらしい提唱である。しかし、この事はひどく大変な作業が必要である。このことを少しでも子供や保護者に伝えていくという事が見えないので、見えるようにしてほしい。
- ・ 改善のための記録は重要である。普段から情報共有を図り、サービス提供に努めていただきたい。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市中京区壬生東淵田町29番地

(施設外クラス)

京都市中京区壬生仙念町30番地

(2) 施設規模等

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造6階建て(2階部分)

延べ床面積 242.00平方メートル

(施設外クラス)

京都市地域リハビリテーション推進センター内

延べ床面積 130.94平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	一般社団法人京都御前福祉会(会長 川畑 房雄)
主たる事務所の所在地	京都市中京区壬生東淵田町29番地京都市御前児童館内
設立年月日	平成27年4月16日
現在の基本財産	なし
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの自立支援を目指す子どもの育成事業 ・ 子育ての社会連携を目指す子どもの家庭支援活動 ・ 共生のまちづくりを目指す地域福祉促進活動
他の本市児童館での指定管理の実績	なし

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア ヨガやベビーマッサージなどの子育て講座を開催し、気軽に利用できる雰囲気づくりに努め、子育ての孤立予防に取り組む。

イ 中京エコまちステーションと連携し、遊びや行事等の活動において、環境問題への関心を高めることができる内容を取り入れる。

ウ 児童館運動会や児童館まつり、近隣商店街での季節行事を通し、子どもと地域住民との多様な交流を促進する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	27,213,000	27,385,000	27,560,000	27,739,000	27,921,000
	利用料	7,800,000	7,800,000	7,800,000	7,800,000	7,800,000
	収入合計	35,013,000	35,185,000	35,360,000	35,539,000	35,721,000
支出	人件費	26,483,000	26,740,000	26,999,000	27,262,000	27,526,000
	事業費	8,531,000	8,446,000	8,361,000	8,278,000	8,195,000
	支出合計	35,014,000	35,186,000	35,360,000	35,540,000	35,721,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人 京都御前福祉会 ・ 株式会社セリオ 	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、当該施設の運営実績があります。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ 外部評価については、法人が運営する当該児童館で、第三者評価を受診し、運営に反映しており、評価できる実績です。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、各種事業の実施内容について、地域の様々な世代や関係団体との交流を促す取組が提案されており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、職員間で安全管理に対する共通理解を図ったうえで、それぞれの役割や責任を明確に示しており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、一般社団法人京都御前福祉会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

大項目	審査項目 中項目	配点	応募団体	
			一般社団法人 京都御前福祉 会	株式会社 セリオ
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.50	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	23.50	22.75
	小計	32	29.00	28.75
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.75	7.50
	2 応募施設の事業計画	16	16.00	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	19.00	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	4	4.00	4.00
	小計	70	68.50	69.00
	合計	102	97.50	97.75
	6%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体 かつ地域住民が主体となった団体)	—	103.35	—
	合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)	100	100.0	95.8

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 利用者の意見、要望も様々であり、それをまとめてよい方向に向かって行く事も重要である。その配慮に対する十分な説明も必要と思われる。
- ・ いじめや職員の不適切な対応が生じた場合の対処について、具体的に検討していただきたい。
- ・ サービスの質の向上にむけた取り組みとして、職員一人ひとりの自己評価だけでなく、事業所としての自己評価を行い、課題を明確にすることが大切だと考える。
- ・ 地域のプラットフォームとなるサービスが提供されている。新たな知見をもとに、新しい取組が生みだされる仕組みも必要である。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市東山区清水5丁目130番地の8

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造3階建て
延べ床面積 185.00平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	・ 京都市紫野児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	32,966,499	33,759,041	34,575,360	35,416,168	36,282,200
	利用料	314,800	314,800	314,800	314,800	314,800
	収入合計	33,281,299	34,073,841	34,890,160	35,730,968	36,597,000
支出	人件費	27,533,833	28,326,375	29,142,694	29,983,502	30,849,534
	事業費	5,747,466	5,747,466	5,747,466	5,747,466	5,747,466
	支出合計	33,281,299	34,073,841	34,890,160	35,730,968	36,597,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受け入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	22.25
	小計	32	28.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	94.25
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	97.08
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	99.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価での特に中高生世代の居場所という役割の向上について、継続的な中学校や高校、青少年活動センターとの連携があればさらに向上すると考えられる。学校との連携により子どもたちの学びの最終的な目標を共有することも今後必要と思われる。
- ・ 人材育成強化、第三者評価の受診は評価できる。
- ・ 年2回利用者アンケートを実施してはどうか。

1 施設の所在地等

- (1) 所在地
京都市東山区今熊野日吉町48番地の34
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造平屋建て
延べ床面積 175.40平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	公益社団法人京都市児童館学童連盟（会長 稲川 昌実）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	平成18年4月1日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の社会性向上及び自立促進を図るための事業 ・ 児童虐待の予防・防止及び子育て不安の解消を図るための事業 ・ 児童の安全確保を図るための事業 ・ 児童健全育成に寄与するイベント等の実施及び広報・普及啓発事業 ・ 児童館・学童クラブ等職員の資質の向上及び育成 ・ 障害のある児童のための介助者の派遣，巡回指導の実施 ・ 地域の子育て支援や福祉サービスの利用を援助する事業 ・ 児童館・学童クラブ相互の連絡調整並びに関係機関及び関係団体との連携協力 ・ 学童クラブ事業の公平・円滑な運営を図るための事業 ・ 児童館・学童保育所に従事する職員を紹介するための職業紹介事業 ・ 児童館の管理及び運営
他の本市児童館での指定管理の実績	・ 京都市壬生児童館ほか6館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 大学生サークルによる教室等の実施により幅広い年齢層の子どもたちへ多様な遊びや学びの場を提供する。
- イ 警察の協力のもと防犯講座を実施する等，子どもたちの安全指導を行う。
- ウ 子育て家庭への支援として，子育て相談を随時受け付けている。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	25,502,000	25,671,000	25,843,000	26,018,000	26,194,000
	利用料	2,615,000	2,615,000	2,615,000	2,615,000	2,615,000
	収入合計	28,117,000	28,286,000	28,458,000	28,633,000	28,809,000
支出	人件費	22,794,000	23,017,000	23,242,000	23,470,000	23,698,000
	事業費	5,323,000	5,269,000	5,216,000	5,163,000	5,111,000
	支出合計	28,117,000	28,286,000	28,458,000	28,633,000	28,809,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・公益社団法人 京都市児童館学 童連盟	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、各種事業の実施内容について、地域の様々な世代や関係団体との交流を促す取組が提案されており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、子ども自身の意識を高める取組が行われており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益社団法人京都市児童館学童連盟を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		公益社団法人 京都市児童館学童連盟
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	24.00
	小計	32	30.00
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	96.00
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.88
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ サービスの質を確保・向上するための方針が明確である。モニタリングをして、それが新しい取り組みにつながっている。
- ・ 日々の情報収集や会議等によりサービスの質向上に向けて取り組んでいる。
- ・ 実績を踏まえた対処が随所になされていて意見を述べる点が見当たらないが、強いて言うなら、このすばらしい活動をSNSや時には口コミなど様々なツールを利用して、地域全体に理解してもらえることを期待する。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市山科区四ノ宮神田町26番地

(施設外クラス)

京都市山科区音羽西林36番地

(2) 施設規模等

構 造 鉄骨造平屋建て

延べ床面積 133.90平方メートル

(施設外クラス)

音羽川小学校内(1階の1教室)

延べ床面積 65.00平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	公益社団法人京都市児童館学童連盟(会長 稲川 昌実)
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	平成18年4月1日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の社会性向上及び自立促進を図るための事業 ・ 児童虐待の予防・防止及び子育て不安の解消を図るための事業 ・ 児童の安全確保を図るための事業 ・ 児童健全育成に寄与するイベント等の実施及び広報・普及啓発事業 ・ 児童館・学童クラブ等職員の資質の向上及び育成 ・ 障害のある児童のための介助者の派遣, 巡回指導の実施 ・ 地域の子育て支援や福祉サービスの利用を援助する事業 ・ 児童館・学童クラブ相互の連絡調整並びに関係機関及び関係団体との連携協力 ・ 学童クラブ事業の公平・円滑な運営を図るための事業 ・ 児童館・学童保育所に従事する職員を紹介するための職業紹介事業 ・ 児童館の管理及び運営
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市壬生児童館ほか6館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア クラブ活動の実施や地域のイベントへの参加により幅広い年齢層の子どもたちへ多様な遊びや学びの場を提供する。

イ 保護者へのヒアリングや小学校との情報交換, ケース会議を実施し, 障害がある児童についても児童館の利用機会を確保する。

ウ 複雑で困難な事情を抱える児童や家庭に寄り添い, 必要に応じて児童福祉センター等の関係機関と連携し, 継続的にかかわり対応していく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	25,096,000	25,187,000	25,282,000	25,380,000	25,481,000
	利用料	8,565,000	8,565,000	8,565,000	8,565,000	8,565,000
	収入合計	33,661,000	33,752,000	33,847,000	33,945,000	34,046,000
支出	人件費	21,832,000	22,042,000	22,254,000	22,468,000	22,684,000
	事業費	11,829,000	11,710,000	11,593,000	11,477,000	11,362,000
	支出合計	33,661,000	33,752,000	33,847,000	33,945,000	34,046,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・公益社団法人 京都市児童館学 童連盟	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、各種事業の実施内容について、地域の様々な世代や関係団体との交流を促す取組が提案されており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、子ども自身の意識を高める取組が行われており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益社団法人京都市児童館学童連盟を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		公益社団法人 京都市児童館学童連盟
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	24.00
	小計	32	30.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	96.00
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.88
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ サービスの質を確保・向上するための方針が明確である。モニタリングをして、それが新しい取組につながっている。
- ・ サービスの向上に向け、「サービス向上に関する10の基本方針」を基に取り組んでいる。
- ・ 実績を踏まえた対処が随所になされていて意見を述べる点が見当たらないが、強いて言うなら、このすばらしい活動をSNSや時には口コミなど様々なツールを利用して、地域全体に理解してもらえることを期待している。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市南区吉祥院西定成町35番地

(2) 施設規模等

構 造 鉄骨造平屋建て

延べ床面積 199.41平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	・ 京都市紫野児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	28,849,674	29,557,017	30,285,580	31,036,000	31,808,933
	利用料	4,356,612	4,356,612	4,356,612	4,356,612	4,356,612
	収入合計	33,206,286	33,913,629	34,642,192	35,392,612	36,165,545
支出	人件費	24,174,320	24,881,663	25,610,226	26,360,646	27,133,579
	事業費	9,031,966	9,031,966	9,031,966	9,031,966	9,031,966
	支出合計	33,206,286	33,913,629	34,642,192	35,392,612	36,165,545

5 選定の概況

(1) 申請団体及び選定理由

応募団体数	申請団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 ・ また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 ・ 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	22.25
	小計	32	28.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	94.25
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	97.08
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	99.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価での特に中高生世代の居場所という役割の向上について、継続的な中学校や高校、青少年活動センターとの連携があればさらに向上すると考えられる。また、施設の老朽化の指摘も踏まえて計画を実施していくことが望まれる。
- ・ 人材育成の強化と第三者評価を受診していることは評価できる。
- ・ 年2回利用者アンケートを実施してはどうか。
- ・ 課題もあると思うが、ノーマライゼーションに適うと共に、他の子どもの成長にとっても、多くの気づきを与えるものとする。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市右京区太秦京ノ道町20番地の1

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造3階建て（1階部分）

延べ床面積 309.18平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人宏量福祉会（理事長 芹澤 出）
主たる事務所の所在地	京都市右京区山ノ内宮脇町9番地の2
設 立 年 月 日	昭和55年1月24日
現 在 の 基 本 財 産	土地
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子生活支援施設 野菊荘の設置経営 ・ 京都市山ノ内児童館の指定管理 ・ 京都市常磐野児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業の受託 ・ 地域子育て支援拠点事業の受託
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市山ノ内児童館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 各種クラブ活動や館外活動の行事は、小学生だけでなく幼児や大人まで一緒に楽しめるよう、また、障害がある児童も参加しやすいよう、環境整備を行ったうえで実施していく。

イ 年齢別の乳幼児クラブの実施や子育て講座の実施により、就園、就学前親子に対して切れ目のない支援を実施する。また、地域における保護者同士の仲間づくりの場とし、児童館外でもつながりが継続できるようなきっかけ作りの場となることを目指していく。

ウ 「児童館運営協力会」をはじめとする各関係機関との密な連携・協力のもと事業を実施し、地域住民・利用者の意見要望に沿った取組の企画・実施に力を入れていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	28,707,465	29,279,440	29,911,534	30,437,919	31,146,138
	利用料	4,734,000	4,734,000	4,734,000	4,734,000	4,734,000
	収入合計	33,441,465	34,013,440	34,645,534	35,171,919	35,880,138
支出	人件費	25,450,000	26,022,975	26,654,069	27,180,454	27,888,673
	事業費	7,991,465	7,991,465	7,991,465	7,991,465	7,991,465
	支出合計	33,441,465	34,014,440	34,645,534	35,171,919	35,880,138

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ 社会福祉法人 宏量福祉会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該団体は、常盤野児童館の他に1件児童館の運営実績があるほか、京都市子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）等の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 団体の運営管理体制では、監査による指摘状況を確認しましたが、指摘事項はありませんでした。また、外部評価については、法人が運営する当該児童館で、第三者評価を受診し、運営に反映しており、評価できる実績です。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、高学年の居場所づくりや子どもが主体となる取組が提案されており、評価できる内容です。 地域交流については、地域行事への積極的な参加や、地域住民の利用を促進するための様々な取組等、充実した提案となっており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人宏量福祉会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 宏量福祉会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.75
	2 団体の運営管理体制	2.6	2.60
	小計	3.2	3.175
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	1.55
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	9.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	1.20
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	1.95
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	6.40
合計		9.8	9.575
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	9.862
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 当該児童館が小学校内に設置されていることから学校との連携は十分になされていると思うが、今後中高生の居場所づくりのために中学校や高校、青少年活動センターとの連携があればさらに向上すると思う。
- ・ 人材のスキルアップ、第三者評価制度を取り入れているところは評価できる。
- ・ 職員の人材育成や人事考課についてより具体的な方針があれば尚良いと思う。

1 施設の所在地等

- (1) 所在地
京都市右京区西京極西池田町13番地の6
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造10階建て（2階部分）
延べ床面積 216.00平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都保育センター（理事長 藤井 修）
主たる事務所の所在地	京都市北区大將軍坂田町8番地1
設 立 年 月 日	昭和51年1月8日
現 在 の 基 本 財 産	土地
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所くりのみ保育園の設置運営 ・ 保育所たかつかさ保育園の設置運営 ・ たかつかさ児童館の設置運営 ・ 京都市西京極児童館の指定管理 ・ 京都市御室児童館の指定管理 ・ 京都市朱雀第三児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市朱雀第三児童館ほか1館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもたちの様々な表現を大切にし、弱さも含めた自分自身を肯定できるような環境を創出する。
- イ 地域から孤立した子育て世帯がなくなるよう、情報発信及び気軽に立ち寄れるような雰囲気づくりを心がける。
- ウ 地域の子どもと大人が共同で取り組むことができるイベントの開催により、地域の活性化に貢献する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	30,886,000	31,486,000	32,086,000	32,686,000	33,286,000
	利用料	6,400,000	6,400,000	6,400,000	6,400,000	6,400,000
	収入合計	37,286,000	37,886,000	38,486,000	39,086,000	39,686,000
支出	人件費	28,836,000	29,436,000	30,036,000	30,636,000	31,236,000
	事業費	8,450,000	8,450,000	8,450,000	8,450,000	8,450,000
	支出合計	37,286,000	37,886,000	38,486,000	39,086,000	39,686,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ 社会福祉法人 京都保育センター	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、児童館のほか、多数の児童福祉関連事業の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査における指摘事項はなく、団体運営が適切に行われております。外部評価については、法人が運営する児童館で、第三者評価を受診し、子どもの権利を尊重した児童館運営ができていると評価を受けており、評価できる実績です。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、様々な世代の交流を創出する取組や、孤立しがちな子育て世帯を支援する取組を積極的に行っており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、施設を利用する様々な世帯に配慮したマニュアルが整えられており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都保育センターを指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都保育センター
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	2.6	26.00
	小計	3.2	32.00
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	65.75
合計		9.8	97.75
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	100.68
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 社会的ニーズの把握は重要な事の一つである。この活用は、地域・関係機関との連携も含まれる。一層の連携が必要と思われる。
- ・ サービスの改善にとって、記録は大変重要である。日頃から職員の情報共有を図り、これまで以上にサービスの提供に努めていただきたい。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市右京区花園天授ヶ岡町3番地の15

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造2階建て（2階部分）
 延べ床面積 144.40平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都保育センター（理事長 藤井 修）
主たる事務所の所在地	京都市北区大將軍坂田町8番地1
設 立 年 月 日	昭和51年1月8日
現 在 の 基 本 財 産	土地
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所くりのみ保育園の設置運営 ・ 保育所たかつかさ保育園の設置運営 ・ たかつかさ児童館の設置運営 ・ 京都市西京極児童館の指定管理 ・ 京都市御室児童館の指定管理 ・ 京都市朱雀第三児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市朱雀第三児童館ほか1館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもたちの様々な表現を大切にし、弱さも含めた自分自身を肯定できるような環境を創出する。
- イ 地域から孤立した子育て世帯がなくなるよう、情報発信及び気軽に立ち寄れるような雰囲気づくりを心がける。
- ウ 地域の子どもと大人が共同で取り組むことができるイベントの開催により、地域の活性化に貢献する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	31,179,000	31,755,000	32,286,000	32,779,000	33,234,000
	利用料	6,240,000	6,240,000	6,240,000	6,240,000	6,240,000
	収入合計	37,419,000	37,995,000	38,526,000	39,019,000	39,474,000
支出	人件費	31,880,000	32,456,000	32,987,000	33,480,000	33,935,000
	事業費	5,539,000	5,539,000	5,539,000	5,539,000	5,539,000
	支出合計	37,419,000	37,995,000	38,526,000	39,019,000	39,474,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都保育センター —	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定候補者は、児童館のほか、多数の児童福祉関連事業の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 団体の運営管理体制では、監査における指摘事項はなく、団体運営が適切に行われております。外部評価については、法人が運営する児童館で、第三者評価を受診し、子どもの権利を尊重した児童館運営ができていると評価を受けており、評価できる実績です。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、様々な世代の交流を創出する取組や、孤立しがちな子育て世帯を支援する取組を積極的に行っており、評価できる内容です。 危機・安全管理については、施設を利用する様々な世帯に配慮したマニュアルが整えられており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都保育センターを指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都保育センター
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	26.00
	小計	32	32.00
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
	合計	98	97.75
	3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)	—	100.68
	合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)	100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 地域関係機関との連携は非常に大切な事である。ボランティアも活用されているが、ボランティアのスキルアップも必要と思われる。
- ・ 質の向上に記録は大切である。今後も情報共有を図り、サービスの提供に努めていただきたい。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市西京区桂上野西町273番地

(施設外クラス)

京都市西京区桂上野西町274番地

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造2階建て

延べ床面積 313.00平方メートル

(施設外クラス)

桂川小学校内(ランチルーム)

延べ床面積 64.00平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会(会長 小石 玖三主)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業) ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市紫野児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	28,733,324	29,439,660	30,167,185	30,916,536	31,688,368
	利用料	10,858,600	10,858,600	10,858,600	10,858,600	10,858,600
	収入合計	39,591,924	40,298,260	41,025,785	41,775,136	42,546,968
支出	人件費	24,394,604	25,100,940	25,828,465	26,577,816	27,349,648
	事業費	15,197,320	15,197,320	15,197,320	15,197,320	15,197,320
	支出合計	39,591,924	40,298,260	41,025,785	41,775,136	42,546,968

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	22.25
	小計	32	28.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	94.25
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	97.08
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	99.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価での子どもたちがゆったりと過ごせる空間づくりについて計画ではあまり触れられていないようである。この点についてもしっかりと検討いただくことが向上につながると思う。
- ・ 人材育成の強化、第三者評価の受診は評価できる。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市伏見区西柳町577番地

(2) 施設規模等

構 造 鉄骨造平屋建て

延べ床面積 187.00平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	公益社団法人京都市児童館学童連盟（会長 稲川 昌実）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	平成18年4月1日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の社会性向上及び自立促進を図るための事業 ・ 児童虐待の予防・防止及び子育て不安の解消を図るための事業 ・ 児童の安全確保を図るための事業 ・ 児童健全育成に寄与するイベント等の実施及び広報・普及啓発事業 ・ 児童館・学童クラブ等職員の資質の向上及び育成 ・ 障害のある児童のための介助者の派遣，巡回指導の実施 ・ 地域の子育て支援や福祉サービスの利用を援助する事業 ・ 児童館・学童クラブ相互の連絡調整並びに関係機関及び関係団体との連携協力 ・ 学童クラブ事業の公平・円滑な運営を図るための事業 ・ 児童館・学童保育所に従事する職員を紹介するための職業紹介事業 ・ 児童館の管理及び運営
他の本市児童館での指定管理の実績	・ 京都市壬生児童館ほか6館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 地域の各種行事・イベントに協力するとともに、「児童館まつり」や「乳幼児親子対象講演会」などの児童館が主体となり地域交流ができる行事を積極的に開催することにより、人と人との多様なつながりを生み出し、児童館に集う児童、保護者と地域の人々との多様な交流を生み出していく。

イ 子育て世帯の孤立の阻止，子育てに対する不安や負担感の増大等の悩みの解消や日常の子育ての仲間づくりを行うことを目的に乳幼児クラブを実施していく。

ウ 学校生活やクラスになじめずに悩みを抱えている子どもに対しては，話を丁寧に聞き取ることによってその要因を探るとともに，保護者や学校とも連携を図りながら，当該子どもにとっての「心が許せる場所」，「居場所」といった役割を果たしていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	29,033,000	29,150,000	29,273,000	29,400,000	29,529,000
	利用料	9,360,000	9,360,000	9,360,000	9,360,000	9,360,000
	収入合計	38,393,000	38,510,000	38,633,000	38,760,000	38,889,000
支出	人件費	25,562,000	25,808,000	26,058,000	26,311,000	26,565,000
	事業費	12,831,000	12,702,000	12,575,000	12,449,000	12,324,000
	支出合計	38,393,000	38,510,000	38,633,000	38,760,000	38,889,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・公益社団法人 京都市児童館学 童連盟	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、各種事業の実施内容について、地域の様々な世代や関係団体との交流を促す取組が提案されており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、子ども自身の意識を高める取組が行われており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益社団法人京都市児童館学童連盟を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		公益社団法人 京都市児童館学童連盟
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	24.00
	小計	32	30.00
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	96.00
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.88
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 児童や地域住民からの声を積極的に聴き、実際にサービスに反映させている点が評価できる。
- ・ トイレの清掃が毎日でない点が気になった。
- ・ サービスの質向上に向けてPDCAサイクルを取り入れておられ、さらに「日常モニタリング」「月次モニタリング」を実施して改善につなげている。
- ・ 実績を踏まえた対処が随所になされていて意見を述べる点が見当たらないが、強いて言うなら、このすばらしい活動をSNSや時には口コミなど様々なツールを利用して、地域全体に理解してもらえることを期待する。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市伏見区醍醐高畑町30番地の1

(2) 施設規模等

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造6階建て（2階部分）

延べ床面積 358.72平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市紫野児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	25,928,105	26,499,319	27,087,670	27,693,670	28,317,850
	利用料	2,613,500	2,613,500	2,613,500	2,613,500	2,613,500
	収入合計	28,541,605	29,112,819	29,701,170	30,307,170	30,931,350
支出	人件費	19,790,761	20,361,975	20,950,326	21,556,326	22,180,506
	事業費	8,750,844	8,750,844	8,750,844	8,750,844	8,750,844
	支出合計	28,541,605	29,112,819	29,701,170	30,307,170	30,931,350

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 ・ また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受け入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 ・ 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	2.6	22.25
	小計	3.2	28.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	66.00
合計		9.8	94.25
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	97.08
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	99.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価での特に中高生世代の居場所という役割の向上について、継続的な中学校や高校、青少年活動センターとの連携があればさらに向上すると考えられる。立地を生かした中高生の居場所づくりを進めてほしいと思う。
- ・ 申請書類に記載の具体的な苦情について、背景事情が定かではないが、当該子どもが学童登録児童であるか否か、土曜の午後からの利用も可であるか否か、いずれも基本的事項と思われる。職員全体が基本的事項を認識できているか、確認の必要があるのではないか。
- ・ 人材育成の強化、第三者評価を受けているのは評価できる。
- ・ 年2回利用者アンケートを実施してはどうか。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市伏見区醍醐東合場町27番地の8

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 219.60平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円, 土地, 建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉を目的とする事業の研究, 総合的企画及び実施 ・ 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 ・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成 ・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業 ・ 保健医療, 教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 ・ 共同募金事業への協力 ・ ひと・まち交流館 京都の経営 ・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営 ・ 京都市長寿すこやかセンターの経営 ・ 京都市成年後見支援センターの経営 ・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営 ・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営 ・ 児童館の運営・経営, 受託運営並びに放課後児童健全育成事業, 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 老人デイサービスセンターの管理・経営 ・ 老人福祉センターの管理・経営 ・ 地域包括支援センターの管理・経営 ・ 老人短期入所施設の管理・経営 ・ 認知症対策型老人共同生活援助事業 ・ 小規模多機能型居宅介護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 居宅予防支援事業 ・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） ・ 法人後見事業 ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ その他の生活困窮者自立支援事業 ・ 生活支援体制整備事業 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ その他この法人の目的達成のために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市紫野児童館ほか31館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 貧困家庭の子どもへの支援として、区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、子どもはぐくみ室を中心とした子ども食堂の運営について、小学校と共に支援を行っていく。
- イ 障害のある児童について、保護者、学校、関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を行う。
- ウ 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な居場所づくりに取り組む。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	28,426,359	29,114,072	29,822,416	30,552,011	31,303,493
	利用料	3,896,300	3,896,300	3,896,300	3,896,300	3,896,300
	収入合計	32,322,659	33,010,372	33,718,716	34,448,311	35,199,793
支出	人件費	23,605,388	24,293,101	25,001,445	25,731,040	26,482,522
	事業費	8,717,271	8,717,271	8,717,271	8,717,271	8,717,271
	支出合計	32,322,659	33,010,372	33,718,716	34,448,311	35,199,793

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があるほか、老人デイサービスセンター等の多数の福祉関連事業を運営するなど、豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績に基づき、詳細な事業計画を作成されており、また、多くの児童館を運営している法人としてのノウハウや、スケールメリットを生かした取組が多岐にわたって行われており、今後の児童館運営に期待を持てる内容となっています。 ・ また、児童館において、大学・専門学校の学生の現場実習の受け入れを行い、福祉現場に従事する人材の育成に取り組むことについて具体的に計画している点について評価できる内容となっています。 ・ 小学生が利用する施設として、小学校との組織的な連携は必要不可欠であることから、今後、益々の連携を期待します。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	22.25
	小計	32	28.25
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	94.25
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	97.08
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	99.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価での特に中高生世代の居場所という役割の向上について、継続的な中学校や高校、青少年活動センターとの連携があればさらに向上すると考えられる。学校との連携により子どもたちの学びの最終的な目標を共有することも今後必要と思われる。
- ・ 人材育成の強化と第三者評価を受診していることは評価できる。
- ・ 年2回利用者アンケートを実施してはどうか。

1 施設の所在地等

(1) 所在地

京都市伏見区横大路柿ノ本町3番地の5

(2) 施設規模等

構 造 鉄骨造2階建て

延べ床面積 236.36平方メートル

2 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	公益社団法人京都市児童館学童連盟（会長 稲川 昌実）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	平成18年4月1日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の社会性向上及び自立促進を図るための事業 ・ 児童虐待の予防・防止及び子育て不安の解消を図るための事業 ・ 児童の安全確保を図るための事業 ・ 児童健全育成に寄与するイベント等の実施及び広報・普及啓発事業 ・ 児童館・学童クラブ等職員の資質の向上及び育成 ・ 障害のある児童のための介助者の派遣，巡回指導の実施 ・ 地域の子育て支援や福祉サービスの利用を援助する事業 ・ 児童館・学童クラブ相互の連絡調整並びに関係機関及び関係団体との連携協力 ・ 学童クラブ事業の公平・円滑な運営を図るための事業 ・ 児童館・学童保育所に従事する職員を紹介するための職業紹介事業 ・ 児童館の管理及び運営
他の本市児童館での指定管理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市壬生児童館ほか6館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 地域の各種行事・イベントに協力するとともに、「児童館まつり」や「乳幼児親子対象講演会」などの児童館が主体となり地域交流ができる行事を積極的に開催することにより，人と人との多様なつながりを生み出し，児童館に集う児童，保護者と地域の人々との多様な交流を生み出していく。

イ 子育て世帯の孤立の阻止，子育てに対する不安や負担感の増大等の悩みの解消や日常の子育ての仲間づくりを行うことを目的に乳幼児クラブを実施していく。

ウ 学校生活やクラスになじめずに悩みを抱えている子どもに対しては，話を丁寧に聞き取ることによってその要因を探るとともに，保護者や学校とも連携を図りながら，当該子どもにとっての「心が許せる場所」，「居場所」といった役割を果たしていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	26,679,000	26,838,000	27,000,000	27,166,000	27,333,000
	利用料	3,699,000	3,699,000	3,699,000	3,699,000	3,699,000
	収入合計	30,378,000	30,537,000	30,699,000	30,865,000	31,032,000
支出	人件費	23,433,000	23,662,000	23,893,000	24,127,000	24,362,000
	事業費	6,945,000	6,875,000	6,806,000	6,738,000	6,670,000
	支出合計	30,378,000	30,537,000	30,699,000	30,865,000	31,032,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・公益社団法人 京都市児童館学 童連盟	<p>(選定委員会による評価)</p> <p>ア 運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者は、多数の児童館の運営実績があり、児童福祉に関する豊富な経験を有する団体です。 ・ 団体の運営管理体制では、監査による指摘事項もなく安定した運営をしており、評価できる実績となっています。 ・ また、第三者評価の受診を定期的に行い、サービスの質の向上に生かしており、評価できます。 <p>イ 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画では、児童館事業の役割である子ども育成機能、子育て家庭支援機能及び地域福祉促進機能を理解し、反映されており、評価できる内容です。また、各種事業の実施内容について、地域の様々な世代や関係団体との交流を促す取組が提案されており、評価できる内容です。 ・ 危機・安全管理については、子ども自身の意識を高める取組が行われており、評価できる内容です。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益社団法人京都市児童館学童連盟を指定候補者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		公益社団法人 京都市児童館学童連盟
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	24.00
	小計	32	30.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	16	16.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	66.00
合計		98	96.00
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.88
合計得点 (百分率表示, 小数点第2位を四捨五入)		100	100.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービス向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 児童や地域住民からの声を積極的に聴き、実際にサービスに反映させている点が評価できる。
- ・ 中高生の居場所づくりを進めるにあたり、具体的な計画、取組みを行う必要があると思う。
- ・ サービスの質向上に向けてPDCAサイクルを取り入れており、さらに「日常モニタリング」「月次モニタリング」を実施して改善につなげている。
- ・ 実績を踏まえた対処が随所になされていて意見を述べる点が見当たらないが、強いて言うなら、このすばらしい活動をSNSや時には口コミなど様々なツールを利用して、地域全体に理解してもらえることを期待している。

各指定候補者の役員等名簿

児童館（17館）

団 体 名	役 員
社会福祉法人京都市 社会福祉協議会 （議第90号，議第91号，議第95号，議第98号，議第102号，議第104号，議第105号）	会 長 小石 玖三主 顧 問 村井 信夫 会長代行 竹下 義樹 副会長 上林 研二，高屋 宏章，水田 隆一，山岸 孝啓， 村井 健次郎 理 事 山田 榮一，村上 繁樹，安田 茂夫，佐治 俊彦， 伊藤 義浩，田中 一明，中西 昌哉，芹澤 出， 藤田 尚哉，西村 忠雄，井筒 隆夫，鶴飼 泉 佐伯 久子，膝 憲之，三宅 英知，岡崎 祐司 常務理事 芳賀 正昭 監 事 和田 千恵，新室 邦明，神本 満男 評議員 岡井 卷雄，上岡 修，岸野 亮淳，福本 義孝， 河原 善雄，堀井 崇男，西脇 悦子，中村 喜代子， 寺本 演夫，菊池 初江，藤岡 強志，小森 純， 岩井 義男，美濃 敦子，嶋本 弘文，水内 直， 石塚 かおる，時任 百子，小林 久男，加藤 博史， 八田 由美子，大江 正照，橋本 英憲，藤木 恵， 岡 千栄子，横内 美佐子，廣瀬 勝，山添 洋子， 廣田 幸子，松景 崇誓，岡本 弥一郎，西村 葉子， 岩井 増枝，前坂 己美子，平井 良和，原田 邦保， 射場 和子，山口 正孝，山本 正，日向 太郎， 堺 紀恵子，篠原 輝雄，宮川 邦博，岡本 匡弘， 松井 道宣，小嶋 薫，平尾 剛之，北川 博巳， 池内 正貢，櫻井 泰広，藤木 泰嘉，井上 基
公益社団法人京都市 児童館学童連盟 （議第92号，議第96号，議第97号，議第103号，議第106号）	会 長 稲川 昌実 副会長 森口 源造，小林 久男 常務理事 國重 晴彦 理 事 前川 修，中川 一良，飯吉 昌子，辻 敏夫， 中路 達雄，荒川 林太郎，山根 邦夫，妻形 八重子， 三浦 正人，木戸 玲子，山崎 真由美，丸山 修， 波多野 里美，児嶋 由佳，土江田 曜子，畑山 博， 水野 篤夫，湊 二郎，小野 巖，南部 和久 監 事 矢島 里美，阪田 和美，壁 純一郎

<p>社会福祉法人京都保育センター (議第93号, 議第100号, 議第101号)</p>	<p>理事長 藤井 修 理事 青山 征男, 渡邊 保博, 唐沢 三代子, 清都 ひさ子 理事 市川 佐規恵, 池添 鉄平 理事 永峰 博, 森 明美, 三浦 正人 評議員 射場 博己, 落合 一司, 植木 泰江, 相川 正親, 三浦 博志, 出口 直規, 川崎 那恵, 戸川 裕子, 千代 裕子, 田中 由紀子, 藤井 伸生</p>
<p>一般社団法人京都御前福祉会 (議第94号)</p>	<p>会長 川畑 房雄 副会長 吉川 潔 理事 向井 ゆかり, 奥野 節子, 別所 弘勝, 藤永 恵美 監事 野呂 幸子, 安孫子 正孝</p>
<p>社会福祉法人宏量福祉会 (議第99号)</p>	<p>理事長 芹澤 出 理事 矢野 武也, 谷 章子, 横内 美佐子, 清水 教恵, 伊藤 正博, 芹澤 千恵美, 野崎 智子 監事 西村 彰, 長谷川 佐喜男 評議員 藤野 節子, 佐々木 ちづ子, 中川 みどり, 辻 貞和, 佐野 夏代, 坂田 克江, 古屋 明美, 神保 忠俊, 鶴谷 祥太, 塩尻 貴代美</p>